

「自分研究」における児童が困っていることを認識する過程の分析

研究協力募集のお知らせ

発達障害のあるお子さんを対象に、お子さん自身の困っていることを認識したり、困っていることの対処方法を考えたりすることのお手伝いをします。本研究の参加を通して、お子さん自身の困っていることに気づくことができたり、困っていることに向き合ってお子さん自身の対処方法を身に付けていって行くことを目指しています。

◆対象

ASD、ADHD 等の発達障害があり知的障害を伴わないお子さん
小学 4 年生から 6 年生

◆期間・日時

2025 年 6 月～10 月までの期間で実施します。
具体的な日程やスケジュールは、ご相談や指導状況に応じて調整・決定予定です。

◆場所

筑波大学心理・発達教育相談室
(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩 5 分 筑波大学東京キャンパス文京校舎 4 階)

◆内容について

1 回 90 分の(休憩あり)計 12 回の活動を予定しております。グループで活動を行います。「困っている」とは何かを考え、次にお子さん自身の困っていることが何かを考え、最後に対処法を考えて発表する流れです。

◆連絡先

筑波大学心理・発達教育相談室 電話:03-3942-6850
相談受付の詳細は、以下の URL ページの下部にあります「ご相談にあたって」をご覧ください。
<https://www.gakko.otsuka.tsukuba.ac.jp/about/organization/consultation/>

担当相談員:丹治敬之(筑波大学人間系准教授)

大野季里(筑波大学人間学群障害科学類)